

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルさくらんぼ			
○保護者評価実施期間	R7年 4月 10日		～	R7年 5月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	R7年 4月 15日		～	R7年 5月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊かな職員が多くいること。	子供たち一人一人に合った支援について話し合う場が度々設けられている。	研修会への参加や、それに対しての話し合いの場や実際の支援へ生かす取り組みをする。
2	色々な場所に出掛ける事で、様々な経験をする機会を設けている。	子供が好きそうなイベントを随時調べ、活動に取り組めるよう心掛けている。	インターネットや地域雑誌、市報等に目を通し、情報を得られるようにする。
3	非常災害の発生に備え避難訓練等取り組んでいる。	非常用の備蓄や水などの確保をしている。月1回の様々な避難訓練に取り組んでいる。	地域の人との助け合い、連携がとれるようにしておく。避難場所の確認。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が設けられていない。	事業所と保護者同士の交流の機会の確保が難しい。	年に一回でも時間を確保することを目指す。
2	家族支援プログラムなどに取り組む機会がない。	保護者との時間を合わせるのが難しい。	家族も一緒に取り組める授業参観のような日があってもよい。
3	地域との交流の機会が少ない。	活動の中で地域との関りが少ない。	地域でのボランティア活動やラジオ体操などに参加してみる。